

雅楽ってなに？

堺市立晴美台小学校 6年生

■雅楽で使う楽器

雅楽でもちいる楽器の種類は多くありません。伝来の頃はかなり多くあったといわれていますが、こんにちでは以下のようになっています。

- 〈管楽器（吹物）〉 = 鳳^{ほう}笙^{しょう} / 篳^ひ篥^{りき} / 龍^{りゅう}笛^{てき} / 高^こ麗^ま笛^{ぶえ} / 神^{かぐら}楽^{ぶえ}笛
- 〈絃楽器（弾物）〉 = 箏^{そう} / 琵琶^{びわ} / 和^わ琴^{ごん}
- 〈打楽器（打物）〉 = 羯^{かっ}鼓^こ / 太^{たい}鼓^こ / 鉦^{しょう}鼓^こ / 三^{さん}ノ^の鼓^こ / 笏^{しゃく}拍^{びょうし}子

《演奏形態》

- (1) 管^{かん}絃^{げん}（3管・3鼓・両絃）
- (2) 舞^ぶ楽^{がく}（3管・3鼓+舞）
- (3) 謡^{うたい}物^{もの}（催^ま馬^ま楽^{らく}・朗^{らう}詠^{ぎやう}・神^{かみ}楽^{らく}歌^かなど）

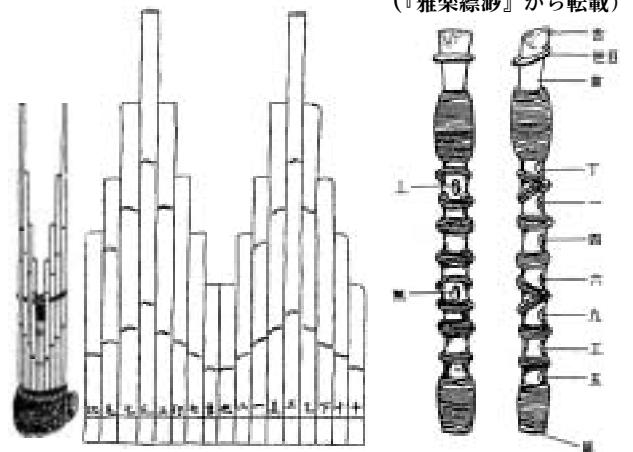
雅楽とは日本古来の音楽に約1400年前、中国大陸や朝鮮半島から伝わってきた古代アジアの音楽がミックスされ、日本の風土、日本人の心に合うように整理されて、平安時代に完成された音楽です。宮中儀式や神社仏閣の祭典、平安貴族のたしなみとして定着して以来、その音色や形式は、ほとんど変わることなく、現在も受け継がれています。しっかりとした音楽理論を持ちオーケストレーションなども整ったものとしては、世界最古の音楽といわれています。



← 想像の鳥・鳳凰（『光降る音』絵・東儀秀樹より）

古代の人々は、鳳笙、篳篥、龍笛を「天」「地」「空」を表現する楽器と考
えました。笙の音色は、「天から差し込む光」を表すといわ
れています。

篳篥「人の声」広い意味では、「地上の音」を、龍笛は「龍
の鳴き声」で広い意味では、「天と地の間の空間」を表すと
いわれ、3つを合わせて奏でると、天地、空を合わせる、
すなわち、宇宙を表現することになります。



（『雅楽縹渺』から転載）

プログラム

- 1, 平調音取・越殿楽（3管合奏） 《5分》
- 2, 楽器紹介・雅楽説明 《10分》
- 3, 涙そうそう（篳篥独奏・ピアノ伴奏） 《5分》
- 4, 雅楽の練習方法（唱歌）・譜面の話 《5分》
- 5, 平調「陪臚」（3管合奏） 《5分》
- 6, もののけ姫【みんなで歌おう】 《5分》
（篳篥独奏/リコーダ2本・ファイフ・ピアノ伴奏）
- 7, 質疑応答 《5分》

ホームページも見て下さい。 <http://sachihiro.com>

<mailto:wat@sachihiro.com> 電話：072-365-2571（山口）

もののけ姫

作詞・宮崎 駿 ^{はやお}

はりつめた弓の ふるえる^{つる}弦よ
月の光に ざわめく おまえの心
と^と研ぎすまされた^{やいば}刃の美しい
その切^きっ先^{さき}によく似た そなたの横顔
悲しみと怒^{いか}りにひそむまことの心を
知るは森の精 もののけたちだけ
もののけたちだけ